

富 総 第 113号  
平成 24 年 5 月 21 日

富良野市議会議長 北 猛 俊 様

富良野市長 能 登 芳 昭

## 請願の処理の経過及び結果について

平成 24 年第 1 回富良野市議会定例会において、「採択」となった請願第 1 号については、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 125 条の規定に基づき、平成 24 年 3 月 21 日付で市議会から請求のあった「請願の処理の経過及び結果」について下記により報告します。

### 記

#### 1. 「今回の計画はいったん白紙に戻すこと。」について

本請願に関し市議会において、ふらの未来の会からは「請願者はやみくもに白紙に戻すことを主張しているのではないので、行政は情報を開示し、時間をとって、一から議論すること」「昨年の緑町児童センターの建設場所選定については、候補地を 3 ヲ所選択し、市民との意見交換を踏まえ決定したため、その先例に従うこと」。公明党からは「保護者等、市民の認識と行政の溝を埋める丁寧な話し合いが必要である」。市民連合議員会からは「地域主権のまちづくりに沿った市民参加が重要である」との賛成討論が行われ、全会一致で採択されました。

市では、請願採択及び予算議決結果を踏まえ、昨年の緑町児童センター建設場所選定を参考に、総合こども園の建設候補地として、市街地における支障物件移転補償費が生じない「現中央保育所」「現麻町保育所」「東 4 条街区」の 3 ヲ所を選択し、広く市民の意見を直接聴くために、情報共有と市民参加のルール条例第 20 条の規定に基づき、市民との「意見交換会」を開催したところです。

#### 2. 「保護者をはじめ関係者、地域住民と十分に話し合い、総合こども園建設計画を進めること。」について

総合こども園の建設計画については、3 月 27 日から 5 月 14 日までの間、「中央・麻町保育所父母の会」をはじめ「富良野こどもの未来を守る会」など 16 団体との意見交換を行う

とともに、市内 15 箇所で「市長と語ろう地域懇談会」を開催し、延べ 951 人が参加し、多様な意見が出され、十分な話し合いをしてきたところです。

この間、参加した保護者や地域住民からは、東 4 条街区に総合こども園を設置する案について、交通・駐車場・環境・その他に関する質問・意見があり、市としては別紙添付資料のとおり考えを示しております。総合こども園の建設場所については、意見交換会やパブリックコメント手続きからの質問・意見を踏まえ、今後、総合的に判断する予定です。

また、4 月 20 日には富良野商工会議所、富良野五条商店街振興組合、五条商店会、幸町第 5 町内会、東 4 条街区再開発準備会の 5 団体から、中心市街地に商業・居住・福祉（総合こども園）等の集積を求める「富良野市中心市街地活性化事業（東 4 条街区地区市街地再開発事業）推進要請書」の提出があったところです。

### 3. 「子ども達が健やかに育める環境づくりを基本にすすめること。」について

子ども達が健やかに育める保育の環境には、保育士等や子どもなどの人的環境、施設や遊具などの物的環境、更には自然や社会の事象などがあるといわれています。そのため、総合こども園の計画については、次の点を基本に進めます。

子どもが、自発的に活動し、様々な経験を積んでいくことができるよう配慮します。

子どもの活動が豊かに展開されるよう、施設の設備や環境を整え、保健的環境や安全の確保に努めます。

保育室は、温かな親しみとくつろぎの場となるとともに、生き生きと活動できる場となるように配慮します。

子どもが人と関わる力を育てていくため、子ども自らが周囲の子どもや大人と関わっていくことができる環境を整えます。

# 【別紙添付資料】

- 1 . 「各界・各層との意見交換会」、及び「市長と語ろう地域懇談会」出席者数 . . . . 4
- 2 . 意見交換会・地域懇談会から出された主な質問の要旨に対する市の考えについて . 5
- 3 . 意見交換会から出された団体ごとの主な意見の要旨について . . . . . 8
- 4 . 地域懇談会から出された主な意見の要旨について . . . . . 1 3
- 5 . 大気環境測定調査委託中間報告（速報値）について . . . . . 1 5
- 6 . 交通問題に関する改善（図面）について . . . . . 1 6
- 7 . 富良野市中心市街地活性化事業推進要請書に関する新聞記事について . . . . . 1 7

1. 「各界・各層との意見交換会」、及び「市長と語ろう地域懇談会」出席者数

(1) 「各界・各層との意見交換会」出席者数

	開催日	開催場所	団体名	出席者数
1	3月27日(火)	商工会議所	商工会議所議員会(予算総会)	38
2	4月10日(火)	保健センター	連合町内会長会議	31
3	4月12日(木)	保健センター	中央・麻町保育所父母の会	51
4	4月15日(日)	商工会議所	五条商店会・五条商店街振興組合	13
5	4月19日(木)	文化会館	中央婦人会	9
6	4月21日(土)	商工会議所	相生商店会・新相生商店街振興組合・すずらん商店会・リバーモール商店会・本通商店会	17
7	4月23日(月)	ふれあいセンター	富良野市老人クラブ連合会	90
8	4月24日(火)	保健センター	民生委員児童委員会	46
9	5月11日(金)	市役所大会議室	子ども子育て支援地域連絡協議会	36
10			富良野市PTA連絡協議会	
11	5月14日(月)	保健センター	富良野こどもの未来を守る会	28
	小	計	16団体	359

(2) 「市長と語ろう地域懇談会」出席者数

	開催日	開催場所	対象地域	出席者数
1	4月10日(火)	栄町コミセン	栄・若葉・幸町	59
2	4月13日(金)	末広コミセン	末広・弥生・若松町	31
3	4月16日(月)	朝日会館	朝日・本・日の出町	38
4	4月17日(火)	南コミセン	緑・扇・南町	54
5	4月18日(水)	東春コミセン	春日・東町	41
6	4月20日(金)	北の峰コミセン	北の峰町・学田三区・御料	70
7	4月23日(月)	麻町児童センター	麻町	31
8	4月24日(火)	瑞穂コミセン	花園・錦・新光・住吉・瑞穂・東雲町	43
9	4月26日(木)	西地区コミセン	桂木・新富・西・北斗町 学田二区・清水山・島ノ下	59
10	4月27日(金)	布部会館	五区・布部・扇山	32
11	5月1日(火)	烏沼会館	烏沼・大沼	27
12	5月2日(水)	布礼別集落センター	布礼別・富丘・八幡丘	22
13	5月7日(月)	麓郷集落センター	麓郷全域	25
14	5月8日(火)	東山支所	東山・西達布・老節布・平沢	27
15	5月9日(水)	山部福祉センター	山部全域	33
	小	計	15地域	592

延参加人数 951人

## 2. 意見交換会、地域懇談会から出された主な質問に対する市の考えについて

項目	主なご質問の要旨	主なご質問の要旨に対する市の考え
交通について	・フラノ・マルシェ周辺は交通量が多いため、交通混雑が心配です。	・フラノ・マルシェ利用の一般車両は南4丁目線からマルシェ駐車場へ、観光バスは南4丁目線を中央通へ進み市役所駐車場で待機するよう誘導します。
	・観光施設が近いので、レンタカーによる交通事故が起きないか不安です。	・国道38号と東5条通交差点は、巻き込み半径の改良や右折レーンの設置。国道38号と東3条通交差点は、注意喚起の標識。南4丁目線と東3条通交差点は、信号機の設置を検討します。
	・車の騒音により、保育への影響が心配です。	・総合こども園の建物は、東5条通や南4丁目線に面さず、交通量の少ない東4条通側に配置します。
	・保護者の送迎や子ども達の安全な散歩が確保できるのでしょうか。	・東4条通は幅員を14mから8mに改良し、施設内通路として、一般車両の通過交通を抑制します。 ・南4丁目線は、東5条通から西2条通まで、幅員3mの歩道を両側に設置します。
駐車場について	・観光のトップシーズンでは、駐車場が大変に混み合うことが想定されます。保護者の送迎時には、駐車スペースが確保されるのでしょうか。	・繁忙期のフラノ・マルシェの営業時間は、午前9時から午後7時までとなっており、特に駐車場が混雑するのは昼から夕方にかけて多くなります。保育所の送迎は、朝の午前8時から9時、夕方は午後5時から6時に集中します。そのため、朝の保護者駐車場利用については確保することが容易ですが、夕方、駐車場が混雑するのであれば、送迎専用区画（ロードコーン設置）を設けたり、警備員の配置を行います。
	・発表会や参観日等の各種行事では、保護者は、どこに駐車すればよいのでしょうか。	・各種行事については、入所式が4月、発表会が11月、卒園式が3月、参観日が春と冬に開催していることから観光シーズンの閑散期にあたります。そのため、2街区駐車場40台、フラノ・マルシェ駐車場93台、その他市役所や保健センターの利用が可能です。
環境について	・東4条街区周辺では、排気ガスによる大気汚染が心配ですが。（周辺住民が排気ガスによる呼吸器疾患になった話を聞いた）	・周辺住民の大気環境の安全性を確認するため、大気環境測定調査を5月10日から16日まで、中央保育所、麻町保育所、東4条街区の3カ所で行いました。 ・5月10日から16日までの速報値（二酸化窒素日平均値の最高値）では、中央保育所0.004ppm、麻町保育所0.003ppm、東4条街区0.003ppmとなっています。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達は自然環境の豊かな所で、のびのびと遊ぶことが必要ではないでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達の発達のためには、自然環境とのふれあいと同様、街の様々な暮らしや営みを見聞きすることが、幼児教育の機能を含めて行う「総合こども園」にとって重要であると考えます。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>東4条街区に総合こども園を配置した場合、園庭が狭く、子ども達はのびのびと遊べないのではないのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央保育所の園庭は 1,350 m<sup>2</sup> (12 m<sup>2</sup>/人)、麻町保育所の園庭は 1,200 m<sup>2</sup> (13 m<sup>2</sup>/人) ですが、東4条街区では約 600 m<sup>2</sup> (5 m<sup>2</sup>/人) となります。児童福祉法に定める児童福祉施設最低基準では、屋外遊戯場の面積は、3.3 m<sup>2</sup>/人以上と定められていますが、園庭の狭隘が指摘されているため、施設の屋上部分約 600 ~ 700 m<sup>2</sup>を有効活用できないか検討します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>園庭が狭いため、自園で運動会を開催できるのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設候補地（東4条街区）の園庭で運動会を開催する場合、保護者の観覧席を設けることは難しいため、他の施設、例えば富良野小学校のグラウンド（雨天時は体育館）の利用を検討しています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>2つの保育所を統合して定員が増えるのに、なぜ、狭い施設をつくるのですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央保育所の床面積は定員 111 名に対して 655 m<sup>2</sup>、麻町保育所の床面積は定員 90 名に対して 683 m<sup>2</sup>で建物の合計面積は 1,338 m<sup>2</sup>ありますが、新たな総合こども園の床面積は定員 120 名に対して現時点において約 1,770 m<sup>2</sup>で検討しています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>7階建てマンションが南側にできることで日当たりが悪くなるのではないのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日当たりについては、日照のシミュレーションを行い、影響のないよう配置設計をしています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所は平屋建てでつくるべきであり、2階建てにすることにより、子ども達が危険にならないですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2階建てにより設置される階段は、体づくりなど子どもの発達過程にとって有効な場所といわれています。また、就学すれば大人用サイズの階段を使うこととなりますので、幼児用サイズにつくられた階段を利用することに慣れておく必要があります。また、エレベーターも設置します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災時には、幼い子どもや歩けない子どもの緊急避難はどうするのですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設には、非常階段、避難用すべり台を設置します。また、火災時には、他自治体を参考に保育士が的確に誘導できるよう定期的な避難訓練を実施します。</li> </ul>

<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急避難路は、どのように考えていますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2階にいる子ども達は、非常階段や避難用すべり台を利用して、1階の子ども達とともに、風向きを考慮して施設南側の2街区駐車場を一時避難場所として退避します。一時避難場所では点呼を取り安全が確認できれば、その後、富良野小学校を避難場所として誘導します。災害の規模や種類によっては市役所や文化会館を活用します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不特定多数の人が集う場所で、不審者の侵入が心配です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東4条街区は、多くの人々が住み、仕事をしている地域であることから、新たな総合こども園は、周囲の人々から見守られている施設であると考えます。仮に、不審者の侵入が懸念されるのであれば、必要に応じてセキュリティのしっかりとした施設整備を図る必要があります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設建設の事業主体は民間ですが、総合こども園の運営はどうなるのですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が中心市街地に計画する総合こども園は、市の他の施策と密接に関連していることから、直営により市が責任を持って運営いたします。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街や高齢者との交流をどのように考えているのですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東5条通では、街なかの賑わいをつくるための様々なイベントを行っており、そのような行事に総合こども園の園児達も参加することが、お互いの交流を深め、地域の活力になっていくものと考えます。</li> <li>・老人ホームの高齢者には、総合こども園で行われる運動会や発表会などにも来ていただき、さらに、地域のお年寄りが培った知識や知恵を伝承する「教育カリキュラム」を導入するなど、子ども達と高齢者がふれあう機会をともに考えともに話し合い、できることから少しずつ実践していくことが3世代交流のきっかけになると考えます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時、保護者の購買力は期待できず、中心市街地の活性化は望めないのではないのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政としては、周辺商店街への直接的な経済効果を求めるものではなく、人が集うことにより生まれる中心市街地への賑わいを期待するものであります。</li> <li>・このことをきっかけとし、商店街あるいは商店が商業活性化へ向けた独自の取り組みへと発展していくことが中心市街地の活性化に大きく寄与するものと考えております。</li> </ul>



### 3. 意見交換会から出された団体ごとの主な意見の要旨について

団体名	主なご意見の要旨
商工会議所議員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心市街地は街の顔であり、中心街が寂びれば、自分の街への愛着も生まれなくなる。マルシェは街の入り口であり、街の人々を「くっつける所」でもある。市議会で予算がついたのだから、確実に一つ一つ進めてほしい。</li> <li>・ 北欧では、まちなかに高齢者住宅と保育所が併設されており、社会保障が整い安全安心を標榜する国に感銘を受けた。市が東4条街区にこども園を建設する計画をぜひ成功させていただきたい。</li> <li>・ まちなかに保育所ができることは、統合にともなう保護者の利便性の公平や平等が保障され、さらに、コンパクトシティに向けて取り組むうえでひじょうにすばらしい計画である。</li> <li>・ 布部では10年前に保育所が閉所され、地域にとっては我慢を強いられているが、5年、10年先の富良野のことを真剣に考えたとき、保育施設のあるべき姿は中心市街地であると思う。</li> <li>・ 総合こども園がまちなかに建設されることは、商売を営む者にとって重要なファクターであり、ぜひ、この計画を進めてほしい。</li> </ul>
連合町内会長会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちなかに保育所が建設されるということは、多くの人々が見守る中で子ども達が育てられるということであり、ここは警察署や消防署にも近く、安全で安心な場所であると思う。</li> <li>・ 中心部はインフラ整備を含め様々なサービスが整っており、子ども・高齢者・若い世代が集い、いかにコンパクトな街をつくるかということに市は全力を尽くしてほしい。</li> <li>・ 中心市街地はそんなに環境が悪い所でもないし、国道沿いの幼稚園に送迎している親たちは、誰もまちなかの環境が悪いとは思っていない。市は保育所の親たちに、目線を変えて説明してほしい。</li> <li>・ 今の富良野にとって大切なことは、農業と観光と市街地の活性化であり、このことは市民全体で共存・共栄・共助しなければならないため、市は体を張って頑張ってもらいたい。</li> <li>・ 中心市街地の活性化を図らなければならないことは理解するが、なぜ、ここに幼保一体化の施設をつくらなければならないのか。</li> <li>・ 親が安心して子どもを預ける場をつくるのが大切である。</li> <li>・ 麻町保育所の場所であれば、河川氾濫による浸水の被害はない。</li> <li>・ 子育て世代が住んでいる場所は、圧倒的に郊外部なのだから、保育所は郊外に建てるべきである。</li> </ul>



<p>中央・麻町保育所 父母の会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市は中心市街地活性化に向けて「ふれあい」や「にぎわい」を求めらるのであれば、総合こども園は適切な施設ではない。</li> <li>・保育所の老朽化に不便を感じていないし、改築する必要はない。</li> <li>・市は、お金とお年寄りのためのまちづくりをしているのか。</li> <li>・まちなかの閉鎖的な空間では、子どもの開放的な心は育まれない。</li> <li>・園庭が狭ければ、外に出られるクラスと出られないクラスが生じ、外で走り回ってもぶつかってケガをしてしまう子も出てしまう。</li> <li>・老朽化のための施設建設ならば、市役所庁舎建設が先である。</li> <li>・統合により廃校となった小学校跡地に保育所を建てればよい。</li> <li>・今、中心市街地に総合こども園を建て替えるのではなく、もう少し親の意見を聞いてじっくり時間をかけるべきである。</li> <li>・地域懇談会において、反対の意見が多ければ、総合こども園を中心街に建てることはやめるべきである。</li> <li>・市議会では、「いったん白紙」の請願書が採択されたのに、市長の見解では「白紙」になっていない。</li> <li>・ここに総合こども園が建っても、五条商店街では買い物をしない。</li> <li>・今の中央保育所の場所は、川が近く自然があって子どもが育つにはいい環境であり、ここに総合こども園をつくるべきである。</li> <li>・イメージ写真をスライドで見たが、与えられた自然物や作り物ではなく、「自然にふれて生活できる」環境にしてもらいたい。</li> <li>・防犯カメラに囲まれた所で子どもが生活するのはおかしい。</li> <li>・総合計画どおり、再編計画は H25 年度から取り組むべきである。</li> <li>・どうして、フラノ・マルシェ横に保育所を持ってくるのか。</li> <li>・まちなか居住を推進するならば、公営住宅を建設すべきである。</li> <li>・交通などの安全面がすべてクリアされてから提案すべきである。</li> <li>・健常者も障害者も集える場所をみんなで考える必要がある。</li> </ul>
<p>五条商店会・五条商店街振興組合</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所が近くにできることはいいことであり大歓迎でもある。</li> <li>・子どもは道路に飛び出す危険性があるため、交通安全対策をしっかり取り組んでいただきたい。</li> <li>・総合こども園が商店街にできることに期待したいし、それができるとして周辺環境が整備され、まちなかに潤いができる。</li> <li>・総合こども園の敷地面積が狭くなることで窮屈に感じるのであれば、ゆとりのある施設建設をしていただきたい。</li> <li>・この事業は、中心市街地の価値を守っていく取り組みであり、総合こども園を建設することで、街の人々の集積が図れる。</li> </ul>

中央婦人会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心市街地に保育所が建つことについては、あまりいい話を聞いていなかったが、今日、市からの説明を受けて、すごくいい構想だなと感心した。私たちが口コミによりきちんとした情報を市民に伝えていきたい。</li> <li>・ 外国人観光客は、交通マナーが悪く、そのような人々が集まる場所に、子どもを連れて行くことは危険に感じるため、もっと安全な場所を再考してもらいたい。</li> <li>・ 私は、東3条通沿いに生活しているが、交通量はほとんどない。</li> <li>・ 3世代交流を図るため、お年寄りが、ボランティアで保育所に行く事はすごくいいことであり、お年寄りの心も和むと思う。</li> <li>・ 私の孫が旭川の「あゆみ幼稚園」に入園しており、交通量の多い環状線に近く2階建てであるが何も問題はなく、月に1回、隣の高齢者施設と園児が交流している。</li> </ul>
相生商店会・新相生商店街振興組合・すずらん商店会・リバーモール商店会・本通商店会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マルシェが出来て、まちなか回遊ではなく、一極集中している。</li> <li>・ 100点満点の施設はつくれない。総合こども園がどのような運営をするかが大切であり、広さの問題は些細な事である。</li> <li>・ 市は請願書の内容を考慮しておらず、保育所は自然豊かな富良野で、わざわざまちなかにつくる必要はない。</li> <li>・ まちなかで子どもを育てたが、保育所の保護者が心配しているような交通の危険性はなかった。</li> <li>・ 園庭が広いか狭いかは、保育所を選択するポイントにはなっていないと思われる。</li> </ul>
富良野市老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温浴施設がダメになったから、総合こども園が建設されるとの話を聞いたが、幼児教育の場所としてここがどうなのかなと思う。</li> <li>・ この問題は、子どものことなのだから、子を持つ親の意見を最大限に尊重して話を進めるべきである。</li> <li>・ この計画に対して保護者は反対し、商店街は賛成している。正直、町内会や老人クラブではどちらでもいい話である。</li> <li>・ この事業は、駅前開発と同じような進め方になっているのではないかと危惧する。</li> <li>・ 私が若い時は、年寄りの意見に振り回された。若い人たちの中ではけっこう反対意見も多いようであるが、高齢者の意見によって、若い人たちに圧力がかかってはいけない。</li> <li>・ 若い人が好むような計画を建てる必要があり、私たちは、若い人達から頼られるような発言をしていきたい。</li> </ul>

<p>民生委員児童委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭が狭いため、市は自ら遊びをつくり出せるような創造的な空間にするよう検討しているが、水を流したりするのは危険である。</li> <li>・保育所は自然環境の豊かな所に建設すべきであり、運動会が自園でできないのは問題である。</li> <li>・東4条街区には、信号機を設置するとか、警備員を配置するなど、安全対策を十分にすべきである。</li> <li>・まちの空洞化を解消する取組みとしては、この構想はすごくいいと思うが、東4条通が狭くなるため、冬場の除排雪管理をしっかりやっていただきたい。</li> </ul>
<p>子ども子育て支援 地域連絡協議会</p> <p>富良野市PTA連 絡協議会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富良野には、これだけの土地があるのに、なぜ、まちなかに保育所を建てなければならないのか理解できない。</li> <li>・総合こども園法案は、株式会社にも事業算入を認めており、全国の幼稚園業界としては、「国の子ども子育て新システム」について反対している。</li> <li>・大気環境調査については、5月だけではなく、観光ピーク時にも調査していただきたい。</li> <li>・まちなかに保育所を建設することで、子ども達がマンションや老人ホームなどの建物に囲まれるのはどうかと思う。</li> <li>・保育所は、「保育に欠ける」ことが前提であるが、幼稚園の機能も加わって総合こども園になれば、子どもの奪い合いが生じ、幼稚園との共存共栄が図れるのか疑問である。</li> <li>・総合こども園は、待機児童解消のための制度であり、実際、富良野では待機児童がいないのに、総合こども園にする必要性があるのだろうか。</li> <li>・総合こども園の定員は、120名ということであるが、激変緩和のための待機児童解消枠40名を設けることは、幼稚園サイドにとって脅威である。</li> <li>・保育所が統合することにより、駅東側には、幼稚園や保育所等の機能がなくなるのはおかしい。</li> </ul>

<p>富良野こどもの未来を守る会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の全職員には、無記名による個人の意思を確認する必要がある。</li> <li>・保育所の父母にとっては、東4条街区が適切な場所ではない。</li> <li>・静かな所が保育にとっては大切であり、私たちはあくまでも「場所」のみを問題としている。</li> <li>・これまでの経過に対する市の説明がわかりづらい。</li> <li>・まちづくり会社の人々が、一度もこのような懇談会に出てこないのは理解できない。</li> <li>・60万人も来る観光地に、子ども達をさらして箱の中に入れ、子どもを「いけにえ」にしているのか。</li> <li>・大気環境調査では、3ヵ所の結果に大差はないということだが、あそこの交通量を考えた時、東4条街区は保育所として適切でない。</li> <li>・お年寄りの中には、毎日、子ども達の声や歓声を聞くことが辛いと思う方がいる。</li> <li>・まちなかに保育所ができれば、危険性が高いため、あまり外にも出られず、散歩にも行かなくなる。</li> <li>・市が東4条街区を選定するまでに、市と保護者とのやり取りはされていない。</li> <li>・子ども達は、介護付き老人ホームの高齢者と交流する以前に、認知症の方もいるため「近寄り難い」と思ってしまう。</li> <li>・児童福祉施設が商業と観光エリアに隣接するのは望ましくない。</li> <li>・原発事故は、「命を守る」ことより「経済を優先」したために起こった政治の過ちであり、保育所の建設場所の選定は「子どもの命」を最優先に考えるべきである。</li> <li>・子どもの運動能力の向上は、幼児期の自由遊びの中から育まれるものであり、自然豊かな緑あふれる総合こども園を期待したいし、現場保育士の意見を取り入れた建設を望みたい。</li> <li>・市長が最終判断をする前に、その判断の「意図」「内容」「気持ち」「過程」をきちんと事細かく説明すべきである。</li> <li>・こんな所に保育所を建てることで、富良野の将来に誇りが持てないし、なんとも切ない気持ちになる。</li> <li>・富良野市政は何を優先するのか。命を守る事を最優先しないのか。</li> <li>・地域懇談会では、1,000人程度の参加者しかおらず、広く市民の声を聞いたことにならないし、市は請願採択に忠実に取組んだとは思えないため、「住民投票」をやるべきである。</li> </ul>
----------------------	---

#### 4. 地域懇談会から出された主な意見の要旨について

	主なご意見の要旨
交通について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富良野の交通事情を知らない観光客が入ってくるため、街なかの速度を 30km/h 制限にするとか、外国人標記（韓国語・中国語）の標識を設置すべきである。</li> <li>・観光客の車両など地理に不慣れなドライバーや外国人ドライバーが交通事故を起こした事例があるので心配である。</li> </ul>
環境について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不安を持っている保護者の立場を考えれば、自然が豊かでのびのびとした場所に預けたいという気持ちは当然である。</li> <li>・保育所を統廃合するのではなく、小さな保育所が地域のあちこちに点在し、様々な地域との交流を図ることが望ましい。</li> <li>・新聞報道では、「園庭の面積が狭い」ことが問題となっているが、園庭の利用は 1 年を通してそんなに多くないため、園庭が狭い事についてあまり神経質にならないほうがいい。</li> <li>・園庭の広さは、120 名の定員で 600 m<sup>2</sup>あれば十分であり、広ければ草取りなどの維持管理が大変である。</li> </ul>
建設場所について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東 4 条街区は、安全面、騒音、排気ガス、園庭が狭いなど様々な問題があり、子どもは自然のあるなかで育てた方がいいし、自園で運動会ができないのは好ましくない。</li> <li>・自然豊かな環境にある 2 つの保育所は、修繕をしながら継続させ統廃合すべきでない。</li> <li>・中心市街地には、冬や雨天時に子どもが遊べる「全天候型屋外施設」や知育や玩具で遊べる「知育施設」、子育て支援センターをつくったほうがいい。</li> <li>・富良野では、環境や場所の問題で、いろいろ揉めているのであれば、へき地に総合こども園を建設してほしい。</li> <li>・昨年の 8 月、五条商店会では、再開発についてアンケート調査を行い、7 番目に保育所、8 番目に託児所があり、特に 20 代・30 代の若者では、保育所の希望が多かったことに驚いた。どうも、メディアでは反対意見が多く記事になっており、市民の考えと乖離している。</li> <li>・中心市街地に保育所ができることで、園庭は街なかの市民ボランティアにより管理をしてもらえる期待もできるし、園庭を広くすることよりは、耐震性を考えて建物に十分お金をかけるべきである。</li> </ul>

<p>経済効果について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所は、夜になれば人が集まらないため、街中の活性化にはつながらない。</li> <li>・ 保育所に預ける保護者は共働き家庭が多く、夕ご飯の支度に忙しいため、送迎時にゆっくり街なかを買い物するようなことにはならない。</li> <li>・ 東4条街区に保育所を建設しても、朝晩の消費活動に大きな影響もなく、ここに保育所をつくったから富良野市の人口が増えるわけではない。</li> <li>・ 運動会が自園でできない部分はあるのかもしれないが、富良野が元気になってもらうために、この計画が起爆剤になることを期待する。</li> </ul>
<p>市民参加について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合こども園の建設場所については、賛否があるわけであり、「住民投票」をやって決めるべきだ。</li> <li>・ 保育所の保護者が反対し、さらに、見直し署名が6,000名も集まっているのだから、その状況を十分に認識して総合判断すべきである。</li> <li>・ 市長は、公約を掲げて選挙の洗礼を受けたのだから、それを具体的に進めるのが民主主義の約束だ。</li> <li>・ 市は地域懇談会や団体懇談会から出された意見を総括し、質問・疑問については、市民にフィードバックしていただきたい。</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富良野は、もっと田舎らしく、自然環境に恵まれた所で、のびのびと育てる場所に保育所をつくったほうが、外から移住する人へのPRになる。</li> <li>・ 行政が総合こども園を設置することで民業を圧迫しないか懸念される。</li> <li>・ そもそも、総合こども園は待機児童解消のための施設であり、富良野市としては国の動向に左右されず富良野にあった保育所建設を進めるべきである。</li> <li>・ 将来、富良野は人口が減ることは明らかなのだから、富良野が発展するためにどうするかをみんなで考え、個別具体的話は、みんなで知恵を出して解決していけばいいことであり、今は大局的に考えるべきである。</li> <li>・ 今の子育て世代は、子育てに悩みを抱え、うまくいっていないこともあると思われるが、発想を変えるという事は、いろいろな問題も出てくるわけであり、限られたお金の中でどうするか考えなければならない。</li> <li>・ 市街地再開発事業によりできる駐車場は、農家の皆さんに開放して朝市などをできるようにしてほしい。</li> <li>・ 子どもは宝だけど、王様にする必要はない。</li> </ul>



## 5. 大気環境測定調査委託中間報告（速報値）

平成 24 年 5 月 10 日（金）から 16 日（水）における 3 調査地点（東 4 条街区、市立麻町保育所付近及び市立中央保育所付近）の窒素酸化物、浮遊粒子状物質の調査結果概要、及び基準値との比較は次のとおりです。

表 大気質調査結果と基準等との比較

調査項目	区分	東 4 条街区	市立麻町 保育所付近	市立中央 保育所付近	旭川市 （永山測定 局） 平成 22 年度 調査結果 <sup>注）</sup>	環境基本法 環境基準
二酸化窒素 NO <sub>2</sub> (ppm)	測定期間 平均値	0.003	0.002	0.003	0.010	1時間値の1日 平均値が 0.04ppm から 0.06ppm まで のゾーン内又 はそれ以下で あること。
	1時間値 の最高値	0.008	0.012	0.008	0.064	
	日平均値 の最高値	0.003 (15日)	0.003 (14～16日)	0.004 (16日)	-	
浮遊粒子状物質 SPM (mg/m <sup>3</sup> )	測定期間 平均値	0.006	0.011	0.009	0.018	1時間値の1日 平均値が 0.10 mg/m <sup>3</sup> 以下であ り、かつ、1時 間値が 0.20 mg /m <sup>3</sup> 以下である こと。
	1時間値 の最高値	0.036	0.046	0.038	0.172	
	日平均値 の最高値	0.009 (14日)	0.018 (14日)	0.016 (14日)	-	

注）旭川市永山測定局（永山 3 条 1 丁目）の測定期間平均値及び 1 時間値の最高値は年間の値を示す。

調査結果は、何れの地点においても比較対象の旭川市永山測定局の調査結果を下回り、環境基本法の大気汚染に係る環境基準値を満足した。



6. 交通問題に関する改善（図面）について

